



けすぞう新聞

2019年5月発行
NO.17
播磨町消防団女性分団

いつもの河川も、いちど確認を

もうすぐ梅雨の季節です。

昨年は7月に西日本豪雨で岡山県、広島県、愛媛県でたくさんの方が亡くなる大災害が発生しました。また、9月には台風21号による高潮によって関西空港が一部水没し、強風で連絡橋にタンカーが衝突しました。

私たちの住む播磨町でも、いつ、どんな災害が起きるかは誰も予測できません。避難情報の発令だけに頼らず、「自分の命は、自分で守る」意識を持ち、自らの判断で避難行動を取ることも重要となってきます。

自らの判断で避難行動を取るためには、どうすれば良いでしょうか。梅雨の季節を迎え、大雨について考えてみましょう。

町を東西に分けるように流れている喜瀬川、普段はどれくらいの水位か知っていますか。国土交通省「川の水位情報」で調べることができますが、喜瀬川の情報は住吉橋水位観測所のみとなっています。

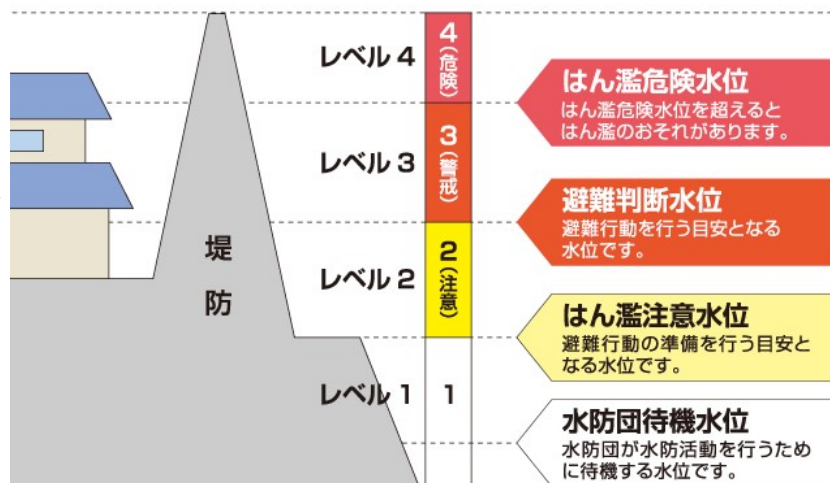
まずは「いつもの喜瀬川の様子」を確認してください。いくら詳しい情報が提供されていても、普段から見ていなければ普通の水位と増水した水位の判別が付きません。

雨がたくさん降る季節の前に、いちど出かけて確認してみませんか。

神戸新聞5月20日版

「神戸大学コラム 安心の素」を参考にしました

水位でわかる川の危険度（国土交通省ホームページより）



6月26日水曜日
ことぶき大学
時間: 13時~13時30分
場所: 中央公民館 大ホール
演目: 住宅用火災警報器

8月29日木曜日
場所: 北部支援センター
時間: 10時から
演目: 教えてノラえもん

近日上演！
防災劇



消防団員募集



地域の安心と安全を守るために、あなたにもできることがあります。

播磨町消防団女性分団、団員募集中です
みなさん、私たちと一緒に活動しませんか？

お問い合わせ 所属グループ: 播磨町危機管理グループ
住所: 加古郡播磨町東本荘1丁目5番30号
電話番号: 079-435-0991